

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
8	軽自動車税課税に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

清須市は、軽自動車税課税に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

本事務の一部を外部事業者に委託しており、委託にあたっては、業者のセキュリティ管理体制を確認し、契約に際し秘密保持についての条項を設けることで、取扱情報の秘密保持を徹底している。

評価実施機関名

清須市長

公表日

令和8年2月27日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	軽自動車税課税に関する事務
②事務の概要	・地方税法(昭和25年法律第226号)に基づき、軽自動車税は、4月1日時点に軽自動車等の定置場を本市内に有する所有者に対して課税を行うものである。 ・軽自動車等(軽自動車、原動機付自転車等)を購入又は譲り受けるなどした場合や、譲渡や盗難などにより所有しなくなった場合に申告が行われる。その際、車両の種類に応じて申告先が異なり、三輪・四輪の軽自動車に関しては軽自動車検査協会へ、二輪の小型自動車・二輪の軽自動車に関しては陸運事務所へ申告が行われ、原動機付自転車・小型特殊自動車に関するもののみ当該市町村に対して申告が行われる。 ・なお、身体障害者手帳等所持者などは減免申請書を市にて受け付け、必要に応じて減免を行う。 ・本事務における特定個人情報ファイルは、以下の事務に使用している。 ①課税対象者情報の準備 ②納税者の軽自動車の登録・抹消情報を受領する。 ③納税者に対し、納税通知書(税額決定通知書)と納付書を送付する。 ④過誤納が発生した納税義務者への還付を行う。(納税義務者より公金受取口座での還付金受取の意思表示がある場合は、情報提供ネットワークシステムを介して公金受取口座情報を取得し処理する。)
③システムの名称	軽自動車税システム 宛名管理システム 住登外宛名番号管理システム 団体内統合宛名システム 統合収納管理システム 統合滞納管理システム 地方公共団体連携中間サーバーシステム 軽自動車税納付確認システム(軽JNKS)
2. 特定個人情報ファイル名	
軽自動車税情報ファイル 収納情報ファイル 滞納情報ファイル 住登外宛名番号管理ファイル 団体内統合宛名ファイル 公金受取口座情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項、別表24の項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)第16条 公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律第2条第2項及び公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律施行規則第2条第45号
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	＜選択肢＞ 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定 [実施する]
②法令上の根拠	番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第8号に基づく利用特定個人情報の提供に関する命令(令和6年デジタル庁・総務省令第9号。以下「主務省令」という。) 【情報照会の根拠】 主務省令第2条の表48の項 主務省令第50条 【情報提供の根拠】 なし 【公的給付支給等口座登録簿に関する情報提供の要求の根拠】 公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律第9条

5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	総務部 税務課
②所属長の役職名	税務課長
6. 他の評価実施機関	
—	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	清須市 総務部 総務課 452-8569 愛知県清須市須ヶ口1238番地 問い合わせ先電話番号 052-400-2911
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	清須市 総務部 税務課 452-8569 愛知県清須市須ヶ口1238番地 問い合わせ先電話番号 052-400-2911
9. 規則第9条第2項の適用 []適用した	
適用した理由	

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[1万人以上10万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和6年4月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和6年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
基礎項目評価書		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	十分である	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	十分である	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	十分である	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [☐]委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か		<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [☐]提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か		<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 [☐]接続しない(入手) [☐]接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	十分である	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か		<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業		
		[] 人手を介在させる作業はない
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	業務マニュアル、フローの確立と徹底 事務従事者への啓発、教育の徹底	

9. 監査		
実施の有無	☐ 〇 自己点検 ☐ 内部監査 ☐ 外部監査	
10. 従業員に対する教育・啓発		
従業員に対する教育・啓発	☐ 十分に行っている ☐ <選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない	
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 ☐ 全項目評価又は重点項目評価を実施する		
最も優先度が高いと考えられる対策	☐ 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 ☐ <選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業員に対する教育・啓発	
当該対策は十分か【再掲】	☐ 十分である ☐ <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
判断の根拠	業務マニュアル、フローの確立と徹底 事務従事者への啓発、教育の徹底	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成27年4月28日	5評価実施機関における担当部署②所属長	税務課長 間下 伸一	税務課長 吉田 敬	事後	部署異動に伴うもの
平成27年4月28日	1特定個人情報ファイルを取り扱う事務③システムの名称	軽自動車税システム	軽自動車税システム 団体内統合宛名システム 中間サーバー	事前	
平成27年4月28日	2特定個人情報ファイル名	軽自動車税情報ファイル、収納情報ファイル、 滞納情報ファイル	軽自動車税情報ファイル 収納情報ファイル 滞納情報ファイル	事前	
平成30年5月21日	I 関連情報 5評価実施機関における担当部署 ②所属長の役職名	税務課長 吉田 敬	税務課長	事後	特定個人情報保護評価指針の改正に伴うもの
平成31年1月1日	IVリスク対策		IVリスク対策を追加	事後	特定個人情報保護評価指針の改正に伴うもの
令和1年12月1日	I 関連情報 4情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第7号。以下「番号法別表第二の主務省令」という。) 【情報照会の根拠】 番号法別表第二の27の項 番号法別表第二の主務省令第20条 【情報提供の根拠】 番号法別表第二の第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「地方税関係情報」が含まれる項 (1,2,3,4,6,8,9,11,16,18,23,26,27,28,29,31,34,35,37,39,40,42,48,54,57,58,59,61,62,63,64,65,66,67,70,71,74,80,84,87,91,92,94,97,101,102,103,106,107,108,113,114,115,116,117,120の項)	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第7号。以下「番号法別表第二の主務省令」という。) 【情報照会の根拠】 番号法別表第二の27の項 番号法別表第二の主務省令第20条 【情報提供の根拠】 なし	事後	
令和1年12月1日	IVリスク対策 6情報提供ネットワークシステムとの接続(提供)	十分である	接続しない	事後	
令和1年12月1日	IIしきい値判断項目 1対象人数	平成27年4月1日	令和1年12月1日	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和1年12月1日	Ⅱしきい値判断項目 2取扱者数	平成27年4月1日	令和1年12月1日	事後	
令和2年10月1日	I 関連情報 7特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求請求先	清須市 総務部 防災行政課 452-8569 愛知県清須市須ヶ口1238番地 問い合わせ先電話番号 052-400-2911	清須市 総務部 総務課 452-8569 愛知県清須市須ヶ口1238番地 問い合わせ先電話番号 052-400-2911	事後	
令和5年4月1日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ②事務の概要		④過誤納が発生した納税義務者への還付を行う。(納税義務者より公金受取口座での還付金受取の意思表示がある場合は、情報提供ネットワークシステムを介して公金受取口座情報を取得し処理する。)	事前	
令和5年4月1日	I 関連情報 3. 個人番号の利用		公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律第2条第2項及び公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律施行規則第2条第45号	事前	
令和5年4月1日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)	番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)	事後	法令改正による修正
令和5年4月1日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠		【公的給付支給等口座登録簿に関する情報提供の要求の根拠】 公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律第9条	事前	
令和5年4月1日	Ⅱしきい値判断項目 1. 対象人数	令和1年12月1日	令和5年4月1日	事後	軽微な変更
令和5年4月1日	Ⅱしきい値判断項目 2. 取扱者数	令和1年12月1日	令和5年4月1日	事後	軽微な変更
令和7年3月21日	I 関連情報 3. 個人番号の利用	番号法第9条第1項、別表第一の16の項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表第一の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)第16条	番号法第9条第1項、別表の24の項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)第16条	事前	ガバメントクラウド移行に伴う再評価の実施

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和7年3月21日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第7号。以下「番号法別表第二の主務省令」という。) 【情報照会の根拠】 番号法別表第二の27の項 番号法別表第二の主務省令第20条	番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第8号に基づく利用特定個人情報の提供に関する命令(令和6年デジタル庁・総務省令第9号。以下「主務省令」という。) 【情報照会の根拠】 主務省令第2条の表の48の項 主務省令第50条		
令和7年3月21日	特記事項	—	本事務の一部を外部事業者へ委託をしており、委託にあたっては、業者のセキュリティ管理体制を確認し、契約に際し秘密保持についての条項を設けることで、取扱情報の秘密保持を徹底している。	事前	ガバメントクラウド移行に伴う再評価の実施
令和7年3月21日	IIしきい値判断項目 1. 対象人数	令和5年4月1日	令和6年4月1日	事後	
令和7年3月21日	IIしきい値判断項目 2. 取扱者数	令和5年4月1日	令和6年4月1日	事後	
令和8年2月27日	I 関連情報 1 特定個人情報を取り扱う事務 ③システムの名称	軽自動車税システム 団体内統合宛名システム 中間サーバー	軽自動車税システム 宛名管理システム 住登外宛名番号管理システム 団体内統合宛名システム 統合収納管理システム 統合滞納管理システム 地方公共団体連携中間サーバーシステム 軽自動車税納付確認システム(軽JNKS)	事後	
令和8年2月27日	I 関連情報 2 特定個人情報ファイル名	軽自動車税情報ファイル 収納情報ファイル 滞納情報ファイル	軽自動車税情報ファイル 収納情報ファイル 滞納情報ファイル 住登外宛名番号管理ファイル 団体内統合宛名ファイル 公金受取口座情報ファイル	事後	